

「復活の主がくださる4つの恵み」  
ヨハネの福音書 20章 19節～23節

はじめに

今日は、イースターです。イエス様の復活を記念し、それを喜び、感謝し、お祝いしましょう。

今朝は、ヨハネの福音書に記されている復活後の出来事から、イエス様が信じる者にお与えくださる4つの恵みを学び、信仰を強め、献身を新たにしましょう。

1 主の日ごとに、主の弟子の集まる所に主が来られる恵み  
(19 26)。

復活の日の夕方、弟子たちが集まっている所に、イエス様がお出でになりました。さらに、「八日の後」（一週間後）に弟子たちが集まっている所にも、主はお出でになりました。

**適用：**このことは、安息日と併せて、キリスト教会の礼拝日の根拠になっています。それまでは、週の終わりの日が安息日でしたが、主の復活後は、週の初めの日に、主が現れとことから、この日を礼拝日とするようになりました。使徒の働き 20章 7節に、「週の初めの日に、私たちはパンを裂くために集まった」とあります。コリント人への手紙 16章 2節には、使徒パウロが献金の勧めをする際に「週の初めの日に」集め、蓄えておきなさいと言っています。このことから、主が復活なさった「週の初めの日」が礼拝に集まる日となっていたことがわかります。

ですから、私たちは、主の日に礼拝に集まる時、私たちだけで礼拝しているのではなく、私たちは、「主にお会いしに行くのだ」「主がそこにお出でくださるのだ」という自覚をもって礼拝に来ましょう。

主は、確かに、「ふたりでも三人でも、わたしの名にお

いて集まるところには、わたしもその中にいるかからです」と約束してくださいました（マタイ 18:20）。

## 2 平安を与えてくださる恵み（19 21）。

弟子たちは、ユダヤ人を恐れて、戸を閉めて集まっていました。指導者の処刑は、次ぎに弟子たちへの迫害につながることは、当然予想されたでしょう。そこへイエス様がお出でになり、「平安があなたがたにあるように」と言って、彼らを安心させました。イエス様は、この時にもう一度、そして8日後に再び弟子たちに現れたときにも、「平安があなたがたにあるように」とお語りになりました。

**例証：**「わたしは、あなたがたに平安を残します。わたしはあなたがたにわたしの平安を与えます。わたしがあなたがたに与えるのは、世が与えるのとは違います。あなたがたは心を騒がしてはなりません。恐れてはなりません」と言われました（ヨハネ 14:27）。

**適用：**主は、私たちに平安をお与えくださいます。私たちは、日々、主にお会いするとき、教会の礼拝で主は、私たちに平安を語り、お与えくださいます。

毎日、主にお会いしているなら、主の日の礼拝で主にお会いしているなら、私たちには平安があります。

私たちは、思い煩うことが多く、不安に襲われやすいものです。使徒パウロは、ピリピの教会に送った手紙でこう言っています。「何も思い煩わないで、あらゆる場合に、感謝をもってささげる祈りと願いによって、あなたがたの願いごとを神に知っていただきなさい。そうすれば、人のすべての考えにまさる神の平安が、あなたがたの心と思いをキリスト・イエスにあって守ってくれます」（4:6-7）

## 3 世に遣わしてくださる恵み（21）。

主の弟子たちは、イエスが捕まると、みな逃げてしまいました（マルコ 14:50）。が、十字架の後、また、このように

集まっていました。そこにイエス様が現れたのです。主は、彼らをお見捨てにならず、「父がわたしを遣わしたように、わたしもあなたがたを遣わします」と言われました。イエス様は、ご自分を捨てた弟子たちをもう一度、ご自分の使者として、世に遣わされようとなさったのです。

**適用：**主は今、私たちをこの世からお救いになりました。そして、私たちを世にお遣わしになります。私たちは、今までと同じように、世で生活していますが、キリスト者となってからは、事情が変わりました。私たちは、キリスト者として、世に遣わされているのです。

主日礼拝で、最後に「祝祷」があります。これは、そこに集まった者に主の祝福があるようにという祈りですが、それはまた、この世に遣わされる「派遣」でもあるのです。

礼拝が終わったら、私たちはイエス様の弟子として、「世に遣わされて行くのだ」という自覚を持ちましょう。

#### 4 聖霊を与えてくださる恵み（22）。

イエス様は、弟子を派遣すると言われた後、「聖霊を受けなさい」と言われました。キリストの弟子としてのわざは、「聖霊」なしにはできません。

聖霊は、主イエス様に代わって遣わされる「もうひとりの助け主」です（ヨハネ 14:16-17）。聖霊は、イエス様に代わって、私たちを教え、慰め、導いてくださいますが、特にこの世に派遣されるキリストの証人として、「力」をくださいます。

**例証：**① イエス様は、天にお帰りになる前に、「聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、および地の果てにまで、わたしの証人となります」と言われました（使徒 1:8）。

② ペンテコステの日、「みなが聖霊に満たされ、御霊が話させてくださるとおりに、他国のことばで話

し出した」（使徒 2:4）。

③ ペテロとヨハネが捕らえられ、大祭司たちの前に引き出された時、ペテロは、「聖霊に満たされて、彼らに言った」のです（使徒 4:8）。

④ ペテロとヨハネが解放されて、仲間の所に帰って来ると、人々は神に祈りました。すると、「一同は聖霊に満たされ、神のことばを大胆に語り出した」のです。（使徒 4:31）。

**適用：** 私たちも、聖霊を受けたのですから、聖霊に信頼し、聖霊に満たされましょう。そうでなければ、この世で、キリスト者として生きて行くことも、キリストを証しすることはできないのです。聖霊は、弱い私たちを助けてくださいます。聖霊に信頼し、聖霊に満たされることを求めていますか。

## 結論

このように、復活の主は、弟子たちに4つの恵みをお与えになりました。

- 1 集まるところに、主がいてくださる恵み。
- 2 平安を与えてくださる恵み。
- 3 世に遣わしてくださる恵み。
- 4 聖霊を与えられる恵み。

主は、生きていて、私たちに「もうひとりの助け主」である聖霊を遣わして、教え、慰め、導き、力を与えてくださいます。

主のご復活を心から喜び、感謝し、お祝いしましょう。